

総合的な探究の時間

「行動」と「対話」を通じて花開く希望の道
～動こう！ 話そう！ やってみよう！～



1 学年「働く大人に聞いてみた」

今回の総合的な探究の時間では、「働く大人に聞いてみた」を実施しました。地域で働くさまざまな方々にインタビューを行い、仕事のことや高校時代のこと、これまでの人生経験、そして今の悩みについてなど、生徒がそれぞれ気になったことを直接質問しました。

インタビューでは、「失敗から学んだこと」や「仕事のやりがい」、「高校生のうちにやっておくといいこと」など、教室ではなかなか聞くことのできない貴重なお話をたくさん伺うことができました。自分の悩みを相談する生徒の姿もあり、一人一人が真剣に話を聞いている様子が印象的でした。

今回の活動を通して、生徒たちはさまざまな生き方や考え方に触れ、自分自身のこれからについて考えるきっかけを得ることができました。今後も、地域とのつながりを大切にしながら、自分らしい生き方・あり方を探究していきます。



2 学年「もやもや&ひらめきタイム」

涌谷町に在住し、町内で働く大人10名をお招きし、地域課題の解決に取り組む「地域de探究」のテーマ決定に向けた活動を行いました。大人の方々には、「ほかにこんな方法もあるのではないか」「反対の立場から考えると、どのように見えるだろうか」など、生徒たちの考えを広げる役割を担う「ジェネレーター」として参加。社会で活躍するジェネレーターは、2回のローテーションで各グループに加わり、生徒から名刺を受け取りながら対話を行いました。こうした交流を通して、生徒が自らの興味や関心を深めるとともに、新たな視点を得て、探究の視野を広げるきっかけとなる活動になりました。



3 学年「自分の魅力発見」

6月11日（木）の総合的な探究の時間は、NPO法人ケアブレンドの中山浩知様を講師としてお招きし、「自分の魅力発見」というテーマで御講話いただきました。「強み・能力シート」を使って自分の強みを発見し、その強みを生かした経験について、高校生活を振り返りながらまとめました。ワークシートの記入に苦慮する場面も見受けられましたが、友人と相談しながら取り組み、その過程で新たな自分の強みを発見した生徒もいました。この活動を通して、自分のPRポイントが明確化されたように思います。今回の授業で発見した自分の強みをこれからの進路活動に生かしてほしいと思います。

